

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 2月 5日

事業所名 **momo club**

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			指導訓練室のスペースは、基準のスペースを十分満たしている。	
	2	職員の配置数は適切である	5			適切に配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	2	1	階段の使用時は、手摺りをしっかり持つよう声かけする。	建物の構造上、2階建てなのでバリアフリー化は難しい。 配慮が必要な場所や部分はスタッフで共有している。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5			偏った意見にならないよう、職員全員から意見を出せる環境を作っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			昨年の評価表を、職員全員で確認し、業務改善に努めている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			保護者配布と、ホームページで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	1			第三者による外部評価は予算的に難しいが、自己評価や保護者評価に加え、相談支援事業所や、他の放デイとの関わりを強化し、客観的な意見を受けられるよう努める。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			定期的に、職員研修を行っている。	
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5			職員全員で活動内容を話し合っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5				
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	2		基本的には集団活動のみだが、状況に応じて個別の支援を行っている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			事前に支援内容の打合せを行い、当日の朝礼時に再度役割を確認している。	

関係機関や保護者との連携	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5			毎日終礼を行い、記録を残している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			保護者との連絡帳・相談支援事業所への報告書・朝礼や終礼時の記録を残している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5			自発管を筆頭に、定期的に見直しを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	5				
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			子どもの状況に精通した職員が、一人、場合によっては二人で参加している。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5			送迎時の対応に加え、必要に応じ学校へ連絡をし、情報共有を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	2	1	現在、該当者無し。	職員にスキルが無いため、現在は医療的ケアの必要な子どもの受入れは難しい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	1		就学前に自発を利用されていた場合は、情報共有に努めている。	保育所や幼稚園などの情報は、相談支援事業所や保護者から聞き取りを行う。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	3		現在、該当者無し。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2		担当者会議等での助言を持ち帰り、職員間で共有している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	1		ダンス発表会など、交流できる機会を設けている。	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	2	3		極力参加できるよう努めている。	鳥栖・三養基地区の子ども部会には参加をしているが、地域自立支援会議の開催時間が事業所の子ども受入れ時間と重なるので難しい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			送迎の際、事業所での様子を伝えたり、自宅での様子を聞くなど、情報共有を行っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5				

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			契約時に、書面を確認しながら説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			個別に相談がある場合は、対面・電話などでの保護者支援を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5			保護者参加型の運動会を開催。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5				苦情については、職員間で共有し、迅速に対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			毎月の利用予定カレンダーを配布し、細かい連絡が必要な内容については、別紙を添付し情報発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	5				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5				
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	3			事業所に招待することは、個人情報の観点から難しいところがあるので、地域の催し事に参加するよう努める。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	1			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			虐待防止研修を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5			契約時に保護者への説明を行い、個別支援計画書にも記載している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2			クッキングを行う場合は、何を作るかを事前に通達し、アレルギーの有無を確認している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5				